

◎定時制コーナー



井手 正敏

(昭和43年定時制卒業)

平成二十二年三月十九日に行われた母校定時制三年卒業式での井手正敏東鷹同窓会副会長の祝辞を全文ご紹介します。定時制卒の先輩として切々と語りかけた内容は、卒業生はもちろん、参列した全ての人に深い感銘を与えました。

「3人の皆様、卒業おめでとうございます。

東鷹同窓会副会長というより、定時制卒業の先輩として、卒業される3人の方にお祝いの言葉を贈ります。

先日、3月1日の定時制の卒業式に参加させていただきました。42年前の自分の卒業式の感動が思い出されるひと時でした。

本日ここに卒業される、3人の方は、3年間の定時制生活の中、更に通信教育も受講されての、今日の卒業と伺いました。大変な中での、自分に勝った結果だと思います。

私事です、私の妻も同じ定時制の同級生です。そして、結婚式の仲人は、定時制の私と妻の恩師であります。師は、今年98歳で元気です。

ある時、仕事がいやになり、恩師の所へ相談に行くと、「今居る所ががんばれ、そして必要とされる人になれ」と指導を受けました。

その師から頂いた言葉があります。

- 1、人に勝つより、自分に負けないこと。
 - 2、恩を忘れてはならない。親の恩、社会への恩、指導 してくれた師への恩、友達への恩、すべての 人に感謝の心を持って。
 - 3、他人の不幸の上に、自分の幸福を築かない。
- という、やさしくもあり、きびしい指導をしてくれました。

この事は、今も私の指針としています。

人生において、師を持つことがどんなに大切か、今この歳になって良く判ります。

私の原点は、定時制で学んだ事にあります。

最高の妻にめぐり会えたのも、又、人生の師に会えたのも、この東鷹高等学校定時制に通学したからです。

どうか、定時制で学んだ事に、誇りを持って頂きたい。

皆様も、卒業した今からが、本当の人生の船出です。厳しい社会を生きぬく為にも、心から信頼できる師を持つことをすすめます。

最後になりますが、何があっても、負けない人生を、そして日々無事故で、周りの人に感謝できる人間になって下さい。

本日卒業の皆様の未来に幸福あれと祈り、卒業式のお祝いの言葉といたします。」

